

No. 565  
2018年  
8月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、近藤賞（2年に一度偶数年）、業績賞、実施賞、普及賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

### 推薦提出書類

1. 近藤賞：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）
2. 業績賞、普及賞、実施賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：各規程推薦状フォーム

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>

\* 論文賞の推薦はありません。

### 推薦締切日

1. 近藤賞：2018年9月30日
2. 業績賞、普及賞、実施賞：2018年11月30日
3. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2019年1月31日
4. 学生論文賞：2019年3月31日

### 推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

詳細は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>をご覧ください。

### 〔近藤賞〕

2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設された賞であり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。（100万円/名）

**推薦対象者：**ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

**推薦方法：**日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

\* 「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

\* 受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2019年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

### 〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金30万円/1名）

\* 2017年度より業績賞被推薦者は「60歳以下」から「65歳以下」に変更されました。

\* 2018年度より副賞金は「10万円」から「30万円」に変更されました。

### 〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円/1名）

### 〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、

この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。(副賞金20万円/1名)

#### 【事例研究賞】

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

#### 【論文賞】

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。(副賞金30万円/1件)

#### 【学生論文賞】

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

### ● 2018年秋季シンポジウム (第79回)

日 程：2018年9月5日(水)

場 所：名古屋市立大学 川澄キャンパス病院ホール

テーマ：「社会に浸透・拡大するAIとOR」

実行委員長：茨木 智(名古屋市立大学)

事前振込参加費：8/29(水) 締切

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

\*非会員の学生の事前振込みはありません。

\*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

\*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：8/29(水) 締切

2018年度年会費納入済み個人正会員は、2018年秋季シンポジウムに無料で参加できます。(ただし、年1回に限りますので、2018年春季シンポジウムに利用された方は、今回利用することはできません。) 研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無

料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、「正会員特典利用によるシンポジウム参加」を事務局宛にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

\*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会(正会員と参加費同額)：

日本経営工学会(JIMA)、日本品質管理学会(JSQC)、日本信頼性学会(REAJ)、研究・イノベーション学会(Jsrpim)、日本設備管理学会(SOPE-J)、経営情報学会(JASMIN)、プロジェクトマネジメント学会(SPM)

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

### ● 2018年秋季研究発表会

日 程：2018年9月6日(木)~7日(金)

場 所：名古屋市立大学 山の畑キャンパス

テーマ：「スマートモビリティ社会とOR」

実行委員長：田地宏一(名古屋大学)

事前振込参加費：8/29(水) 締切

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

\*非会員の学生の事前振込みはありません。

\*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

\*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員(非会員学生を含む)の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。(事前振込、当日お支払い同額です。)

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

\*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

**懇親会：**

会場：名古屋市立大学 山の畑キャンパス内

日時：2018年9月5日（木）発表会終了後

懇親会費（事前振込み）：5,000円（8/29（水）締切）

\* OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。

懇親会費（当日受付）：6,000円

\* 当日受付には限りがありますので、なるべく事前振込みをお願いいたします。

**賛助会員の方へ：**

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。

賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

**企業展示：**参加企業募集中

**協賛学会（正会員と参加費同額）：**

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（Jsripim）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

**参加費関連問合せ先：**

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

**● 2019年春季シンポジウム**

日程：2019年3月13日（水）

場所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

**● 2019年春季研究発表会**

日程：2019年3月14日（木）～15日（金）

場所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

**● 研究部会・グループ開催案内****〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕**

・第18回

日時：2018年8月24日（金）12:30～17:00

（12:00開場）

場所：JEC日本研修センター十三小会議室A

（大阪府大阪市淀川区十三本町1-12-15）

テーマと講師：

(1) 「日本の先物市場における日中の価格変動要因に

関する分析」

落合夏海（大阪大学）（共同研究者：大西匡光（大阪大学））

ボラティリティは、ファイナンスにおけるほとんど全ての意思決定に関連することから、その推定と予測可能性に対する探究は、実務的・学術的に重要なトピックである。本講演では、日本の株価指数先物の5分間リターンのボラティリティに対し、ベイズ統計の枠組みに基づいて分解・検証する方法について述べる。

(2) 「不確実性環境下でのリアルタイム生産スケジューリング」

平林直樹（大阪府立大学）

IoTによるリアルタイム処理を陽に考慮した生産スケジューリング方式として、自律分散型のスケジューリングが提唱されている。しかし、そこでの意思決定法は、実行可能性に重きをおいた簡便なものであり、必ずしも良好な評価基準値が得られるとは限らない。ここでは、静的に生成された規範スケジュールを利用することにより、評価基準値の改善を図る試みについて紹介する。

(3) 「技術革新導入の最適タイミング」

玉置光司（愛知大学）

計画期間中に、イノベーション（技術革新）がある非定常ポアソン過程に従って生起すると仮定する。出来る限り後期の（最新の）イノベーションの導入が望ましい。導入が1回しか許されない場合と複数回許される場合の最適導入タイミングについて考察する。

(4) 「『問題解決のためのOR』教育」

大村雄史（元近畿大学）

ORは今でも、一般の人からは何をしているのかよく分からない学問と思われている。しかし、企業に於いて長年ORの視点から問題解決に携わってきた経験から言えば、社会に出て行く学生が、ORの知識を少しでも持っていることは、本人、企業、社会にとって大きなプラスである。そのような学生を育てるという目標で授業を実施してきたが、私学のいわゆる経済・経営系であるので、一部の学生を除いて、簡単な数式も理解がしづらいというような、特有の問題もある。そのような状況で、良い教育を目指して試行錯誤をしてきた。皆様の何らかの参考になれば幸いである。

**懇親会**

日時：2018年8月24日（金）17:15

場所：がんこ十三本店1F

大阪府大阪市淀川区十三本町1-9-9

<https://r.gnavi.co.jp/chelarrj0000/>

費用：6,000円程度

## ● 新宿 OR 研究会

〔第381回〕

日 時：2018年9月18日（火）12:00～14:00

講 師：八戸英夫氏（工学院大学工学部機械システム  
工学科）

テーマ：「首都圏鉄道の振替輸送について」

場 所：OR学会事務局会議室

（千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F）

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にメール  
にてお申し込みください。）

詳 細：<http://www.orsj.or.jp/activity/others.html>

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〔第382回〕

日 時：2018年10月16日（火）12:00～14:00

講 師：野末尚次氏（(株)数理モデリング研究所）

テーマ：「OR理論の実用問題への適用：緩和問題と  
して利用するimplicit enumerationアプローチ」

その他、上記と同じ（場所は事務局）

〔第383回〕

日 時：2018年11月20日（火）12:00～14:00

講 師：荒井武彦（足利大学工学部システム情報分野）

テーマ：「小惑星探査機はやぶさ2の科学データ解析」

その他、上記と同じ（場所は事務局）

## ● 中部支部「SSOR中部支部2018」

趣 旨：OR学会中部支部では、SSOR中部支部2018  
を開催します。昨年度のSSOR中部支部2017を引  
継ぎ、若手研究者の育成と人的交流の促進を目的に、  
1泊2日の合宿形式で開催される研究会です。中部  
支部だけでなく、全国のOR学会関係者の参加を募  
集します。本研究会では、

- ・若手研究者による発表（ショートまたはロング）
  - ・チュートリアル講演
  - ・懇親会
- を行います。

「若手研究者」は、平成生まれ、または、学籍のあ  
る方を想定しています。そのうえで、本人もしくは指

導教員がOR学会員であることが参加するうえで必要  
です。

事前登録終了につき、今後の参加希望者は、問合せ  
先まで直接ご連絡ください。

日 時：2018年8月30日（木）、31日（金）

場 所：愛知県犬山市犬山甲塚48-3サンパーク犬山

参加費：発表者5,000円、一般10,000円 他

参加登録方法：指定のGoogle フォーム

（中部支部Webページをご覧ください）

問合せ先：

SSOR中部支部2018代表 金子美博（岐阜大学）

E-mail: fau@gifu-u.ac.jp TEL: 090-6356-4221

## ● 他学協会協賛案内

\* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジ  
ウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会に  
お問い合わせください。

### ・日本信頼性学会第31回秋季信頼性シンポジウム

日 程：2018年10月29日（月）

場 所：一般財団法人日本科学技術連 東高円寺ビル

主 催：日本信頼性学会

WEB：<http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=96>

### ・第61回自動制御連合講演会

日 程：2018年11月17日（土）～18日（日）

場 所：南山大学 名古屋キャンパス

主 催：システム制御情報学会（幹事）、計測自動制  
御学会、日本機械学会、化学工学会、精密工学会、  
電気学会、日本航空宇宙学会

WEB：<https://rengo61.iscie.or.jp/>

## ● 公募案内

\* 詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの  
「教員公募案内」をご覧ください。

### ・静岡大学大学院情報学領域

募集人員：助教または講師1名（任期なし、年俸制）

所属：大学院情報学領域行動情報学系列

主担当：情報学部、大学院総合科学技術研究科情報学  
専攻

着任時期：2019年4月1日

専門分野：サービスサイエンスあるいは経営管理

**担当科目：**サービスイノベーション論，管理科学，社会公共システム論などから相談の上で決定する。また，学部共通科目や全学共通科目を担当する場合がある。

**勤務地：**静岡大学浜松キャンパス（静岡県浜松市中区城北3-5-1）

**応募資格：**

- ・博士の学位（取得見込みを含む），またはそれと同等の業績を有すること。
- ・サービスサイエンスあるいは経営管理に関して，体系的な見識を有していること。
- ・産業界などと連携した地域の課題解決型研究プロジェクトの推進に意欲があること。
- ・行動情報学分野のカリキュラム策定やイノベーション人材の育成に積極的に寄与できること。
- ・大学の組織運営業務に対して積極的に貢献できること。
- ・日本語を母語または第一言語としない場合は，職務の遂行に必要な日本語運用能力を有すること。

**選考方法：**

- ・書類審査を通過した応募者に対して10月（予定）に面接を行います（面接のために要する旅費や準備の経費は自己負担）。書類審査では，応募者の5年以内の学術的業績（国内外会議における受賞や査読論文など）を重視します。また，イノベーションに関連した実践的な研究に携わった経験，ワークショップ形式の授業などを実施した経験，競争的資金の獲得経験，サービスイノベーションに関するティーチングメソッド，のいずれかを有していることがより望ましいです。面接では，英語での説明や受け答えを求めることがあります。
- ・なお，静岡大学は，静岡大学男女共同参画憲章の基本方針に基づき男女共同参画や女性教員の採用を推進しており，評価が同等の場合は女性の候補者を優先する選考を行います。また国際化の進展を図るため，評価が同等の場合は外国籍の方，あるいは外国で学位を取得した方を優先する選考を行います。

**提出書類：**

応募書類様式（<http://www.inf.shizuoka.ac.jp/recruit/pdf/recruit180521.doc>）に従い，下記（1）および（2）をUSBメモリに保存して，書類送付先に提出してください。

（1）履歴書，研究業績一覧，教育実績，運営・学会活動実績，教育・研究・運営・社会貢献に関する抱負等を記載したPDFファイル

（2）5年以内の主要な業績（3編）のPDFファイル  
※（1）のPDFファイルは暗号化のうえUSBメモリに保存し，下記書類送付先に提出してください。また，復号用のキーワードを別途，問い合わせ先に知らせてください。なお，（2）のPDFファイルについては暗号化しないでください。

※情報学部の教育内容に留意して記載してください。

※USBメモリの返却はいたしません。

**応募期限：**2018年8月31日（金）必着

**書類送付先：**

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡  
大学大学院情報学領域長 宛  
封筒に「情報学領域（サービスサイエンス）助教・  
講師応募書類」と朱書し，簡易書留で郵送してく  
ださい。

**問合せ先：**

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
静岡大学大学院情報学領域・准教授 遊橋裕泰  
E-mail: yuhashi-h@inf.shizuoka.ac.jp  
TEL: 053-478-1588

**その他：**

- ・給与については年俸制が適用されます。
- ・情報学部および大学院総合科学技術研究科情報学専攻の構成・教育・研究の内容等については，情報学部公式Webサイト（<http://www.inf.shizuoka.ac.jp/>）をご覧ください。

**・鳥取大学工学部**

**募集人員：**助教1名

**所 属：**社会システム土木系学科（社会経営工学講座）

**専門分野：**データサイエンス，情報科学，およびその関連分野

**担当授業科目：**確率統計モデリング，プログラミング演習などの専門科目，および数学に関する基礎科目

**応募資格：**①博士の学位を有することが望ましい，②データ解析（ビッグデータ解析や機械学習など）により社会のシステムやサービスに関する研究を遂行できること，③行政，民間との連携プロジェクトなどに参加する意欲があること

**着任時期：**2019年4月1日（予定）

**提出書類：**①履歴書（様式1），②教育歴（様式2），③研究歴（様式3），④その他の活動歴（様式4），⑤着任後の抱負（様式6），⑥研究業績リスト（様

式6-1), ⑦所見を伺える方の照会先(2名)または推薦状(2通)(様式7), ⑧主要な査読付き学術論文の別刷り(コピー可)3編程度

**応募締切:**2018年10月1日(月)必着

**選考方法:**学科内選考(一次:書類審査, 二次:面接(プレゼンテーションを含む))および学部内選考

**問い合わせ先・書類提出先:**〒680-8552 鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学工学部社会システム土木系学科(社会経営工学講座)教授 星川淑子

TEL:0857-31-5317 FAX:0857-31-0882

E-mail:hoshikawa@tottori-u.ac.jp

封筒表面に「教員(社会経営)応募書類在中」と朱書し,簡易書留郵便または宅急便にて送付すること。なお,原則として提出書類は返却しませんのでご了承ください。

**その他:**

(1)公募の詳細については,必ず以下の鳥取大学ホームページを参照すること。<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>

(2)鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。また,鳥取大学および鳥取県は家族を大切に,働きやすい環境づくりを進めています。

・鳥取大学男女共同参画推進室URL:<http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/>

・鳥取県の「子育て王国とっとり」URL:<http://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

## ● インターンシップ広告

\*詳細は,各企業のWEBおよび,OR学会WEBの「インターンシップ広告」をご覧ください。

・株式会社東芝ならびに東芝グループ

**実施場所:**東京,神奈川を中心とした事業場・工場

**日程,期間:**2018年夏季については,2018年8月20日(月)から2週間ないし4週間

**インターン概略:**数理最適化,シミュレーションなどのOR分野技術を用いて,課題に対する評価・改善策の実装・効果の検証などをさせていただくテーマもごございます。募集テーマの委細はウェブサイトをご覧ください。

**応募方法:**ウェブサイト[https://www.toshiba.co.jp/saiyou/internship/index\\_j.htm](https://www.toshiba.co.jp/saiyou/internship/index_j.htm)にて詳細をご確認のうえウェブサイトからお申し込みください。

## ● 研究助成案内

\*詳細は,各財団のWEBおよび,OR学会WEBの「助成案内」をご覧ください。

・鹿島学術振興財団 2018年度研究助成

**研究対象者:**

(1)都市・居住環境の向上

(2)国土・資源の有効利用

(3)防災・危機管理の推進

(4)文化的遺産・自然環境の保全

以上の分野での研究者または研究グループ

**助成金額と期間:**

(1)1件あたりの助成金は,継続期間(2年目)の分も含めて合計300万円以内とする。

(2)助成期間は2年間まで。

**使途:**研究に必要な設備品費,消耗品費,謝金,旅費,印刷製本費等

**募集期間:**2018年7月1日(日)~11月10日(土)

**推薦:**希望者には,OR学会より推薦書をお出します。

OR学会推薦締切:2018年10月10日(水)

推薦希望問合せ先:OR学会事務局

E-mail:jimukyoku@orsj.or.jp

\*詳しくは,<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>をご覧ください。

\*\*\*\*\*

## 日本OR学会創立60周年記念事業

## 本部SSOR 2018

\*\*\*\*\*

## SSORとは：

SSOR（エスエスオーアール）とは、オペレーションズ・リサーチ（OR）における様々な分野で活動が続いている若手の企業人・研究者・学生などの人材交流支援と創造的活動創出を目的とした合宿形式の夏季セミナーです。SSORは、平成10年までに33回にわたりORコミュニティ有志により開催され続けてきました。また、2007年8月には、日本オペレーションズ・リサーチ学会 創立50周年記念事業としてSSOR2007（@伊東）が開催されました。

さて昨年度から日本オペレーションズ・リサーチ学会創立60周年記念事業の一環として各支部でSSORが開催されてきましたが、本部においても2018年8月末にSSORを開催します。このSSORを利用し、オペレーションズ・リサーチ分野の多くの優れた人材との交流を楽しみ、そしてオペレーションズ・リサーチ分野における創造的・革新的な活動のきっかけを作ってください。教育研究機関・企業等の所属組織を問わず、オペレーションズ・リサーチ分野で活動している様々な背景をもつ多くの皆様の参加をお待ちしています。

## 特別講演：

大宮英明氏（株式会社 三菱重工業 取締役会長，2014～2015年度OR学会会長）

大山達雄氏（政策研究大学院大学 名誉教授，2016～2017年度OR学会会長）

日 程：2018年8月29日（水）～31日（金）

会 場：水上温泉 源泉湯の宿 松乃井（群馬県利根郡みなかみ町湯原 551）

早期参加申込締切日：2018年7月6日（金）

通常参加申込締切日：2018年7月31日（火）

発表申込締切日：2018年7月6日（金）

## 参加費：

早期申込：学生 22,000円 一般 31,000円

通常申込：学生 25,000円 一般 35,000円 賛助 100,000円

ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/~ssor2018/>

## 企業の方へ

本部SSOR2018にご賛助いただける場合は下記問合せ先までご連絡をお願いします。賛助特典もございますので、お問合せください。

問合せ先：実行委員長 成島康史（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院）

E-mail: narushima@ynu.ac.jp

\*\*\*\*\*

## 第30回RAMPシンポジウム

\*\*\*\*\*

RAMPシンポジウムは、日本オペレーションズ・リサーチ学会の数理計画研究部会（RAMP: Research Association of Mathematical Programming）によって年一度開催される、最適化・数理計画に関するシンポジウムです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

**日程**：2018年10月10日（水）、11日（木）

**会場**：広島国際会議場

**RAMP主査**：土谷 隆（政策研究大学院大学）

**実行委員長**：土肥 正（広島大学）

**プログラム委員長**：岡本吉央（電気通信大学）

**参加申込**：RAMP2018ホームページ <http://www.orsj.or.jp/ramp/2018/index.html>にて行います。準備が整いましたら、日本オペレーションズ・リサーチ学会のメーリングリストでお知らせいたします。

**【プログラム】** \*セッション名・講演題目・講演順序は現在調整中です。

10月10日（水）

受付 9:20～ 開会の挨拶 9:50～10:00

1. **「暗号理論と数理最適化」** 10:00～13:00 オーガナイザー：河内亮周（大阪大学）  
藤堂洋介（NTTセキュアプラットフォーム研究所）、Chen-Mou Cheng（大阪大学）、高安 敦（東京大学）  
〈昼食 13:00～14:15〉
2. **「特別講演1」** 14:15～15:15  
詳細は決まり次第お知らせいたします。  
2日目の「特別講演2」と合わせて、現在Jesus De Loera氏（University of California Davis）、László Végh氏（London School of Economics）（以上アルファベット順）の講演が予定されています。
3. **「金融工学とコーポレートファイナンス」** 15:30～18:30 オーガナイザー：木島正明（広島大学）  
室町幸雄（首都大学東京）、山崎和俊（関西大学）、鈴木輝好（北海道大学）  
〈懇親会 19:00～（予定）〉

10月11日（木）

受付 9:00～

4. **「確率的情報処理と情報統計力学の最前線」** 9:30～12:30 オーガナイザー：安田宗樹（山形大学）  
小渕智之（東京工業大学）、唐木田 亮（産業技術総合研究所）、徳田 悟（産業技術総合研究所）、高橋 茶子（東北大学）  
〈昼食 12:30～13:30〉
5. **「特別講演2」** 13:30～14:30
6. **「離散最適化の理論とアルゴリズム」** 14:45～17:45 オーガナイザー：塩浦昭義（東京工業大学）  
岡本吉央（電気通信大学）、高澤兼二郎（法政大学）、柳浦陸憲（名古屋大学）  
閉会の挨拶 17:45～

RAMP2018HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/2018/index.html>

数理計画（RAMP）研究部会HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>



\*\*\*\*\*  
**ORに関するお薦め図書の情報をお寄せください**  
\*\*\*\*\*

本学会広報委員会ではORに関する情報発信を強化するため、学会ホームページをはじめとした情報基盤を拡充するためのプロジェクトを進めています。その一環としてORに関連する図書の情報を集め、ORの実践や学習・研究などに資する場を提供します。

第一弾としまして、広報用のTwitterアカウント【URL】[https://twitter.com/orsj\\_pr\\_dev](https://twitter.com/orsj_pr_dev)もしくは



において、ORの図書情報を収集し、集められた情報を当Twitterおよび機関誌などで発信していく予定です。

お薦め図書の情報について随時募集も行っています。書誌情報やコメントを以下の1., 2.いずれかの方法でお寄せください。

1. Twitterでツイート：

個人の公開Twitterアカウントにてハッシュタグ#OR本を付けてツイート。

2. Googleフォームから入力：

【URL】<https://goo.gl/forms/vSq221015kaLguby2>もしくは



にて図書情報を入力（アンケート形式）し送信。

いずれの場合もお寄せいただいた情報は上記Twitterアカウントにて公開されます。なお2.の場合、Googleフォームから入力された情報はそのまま1.と同一のTwitterアカウントに転送されます（ハッシュタグは不要です）。ただしTwitterの文字制限（140字以内）を超える場合、2つ以上のツイートに自動的に分解されます。またお寄せいただいた情報は、不定期に学会HP、機関誌などで紹介させていただく場合があります。

本件問い合わせ先：日本OR学会広報委員会内 E-mail: [or-review@orsj.or.jp](mailto:or-review@orsj.or.jp)

**2018年度年会費納入のお願い**

2018年度（2018年3月1日～2019年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2018年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

**年会費専用振込み口座**

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 シヤ）ニホンオペレーションズリサーチ ガクカイ
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
年会費（不課税） 正会員 14,400円 学生会員 5,000円 シニア会員 7,200円 *手数料は払込人様ご負担でお願いします。 *お名前はフルネームでお書きください。	

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**学会事務局夏季休業のお知らせ**

2018年8月13日（月）～17日（金）

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は2018年1月22日に「2018年度年会費」を引き落としさせていただきました。

**2018年3月ご卒業の学生会員の方へ**

- 1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**  
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。  
2018年度の会費はそのままです。2018年11月に2019年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。
- 2) 退会希望の方へ**  
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

- OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。
- 1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。
    - ①WEBからの入会申込み
    - ②入会金600円のお振込み
    - ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）
 以上3点をもって、無料化受付が完了します。
  - 2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055  
\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。  
（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）  
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。